

[新着情報]

武漢都市圏農産物、遼寧で販売

9月1日、精武鴨脖子（アヒルの首の味付けくん製）、桂花香酒、武昌魚、李時珍保健油（植物性の健康油）等400余りの武漢都市圏の名産品が東北地方の遼寧省で即売会が催された。現地スーパーでの成約発注書は500万元（約8千万円）以上に上った。

これは、武漢都市圏名産品販売協会が湖北省以外で行った初めての特産会である。

武漢名産品の瀋陽流通ルートでは、物流、決算、販売を一本化することにより、全体利益を確保し、リスクを減らすものとなっており、各企業の事後コストを格安に抑えているとのことである。（9月2日）

長江沿いの漢口バンドが国家級の風景区となった。（9月3日）

武漢市民の平均寿命が77歳に達し、北京、上海について第3位に。

武漢市衛生局が昨日発表したところによると、2007年における武漢市民の平均寿命が77.89歳に達した。これは上海、北京に次ぎ、全国第3位となる。

1975年における武漢市の平均寿命は70.5歳であり、33年間で7.39歳も伸びた。平均寿命はその社会生活の質を反映する重要な指標と言われている。国際的には、平均寿命が75歳に達した社会はモダン生活の初期のレベルで、77歳に達するとモダンな生活だと認められている。なお、上海の平均寿命は81.08歳、北京は80.07歳である。（9月3日）

2010年までに、青山区の3分の1にあたるゴミを宝に変える！

昨日の午前、青山区ゴミ分別啓発運動の式典において、青山区委員会の黄克強書記が「2010年までに、青山区の3分の1にあたるゴミを宝に変える！」と力強く宣言した。

6月2日に青山区鋼花街からスタートした、ゴミ分別のモデル事業は、たった10日間で青山区全体に広がった。計画によると2010年までに青山全区のゴミ分別収集達成率及びゴミの資源リサイクル率はともに30%以上になるとのことである。（9月5日）

武漢市生活市民コミュニティーセンタープロジェクトがスタート

昨日、「武漢市文化享受プロジェクト」の第1期市民文化サービス拠点が正式認承を受けた。これは、武漢市内199のコミュニティーの住民が玄関から近いところで様々な講座を受けたり、必要な情報にアクセスできるなどのサービス

を無料で享受できるということを意味する。

武漢市文化局の責任者は武漢市図書館にて、江漢九民権町等の第 1 期市民文化サービス拠点に対し認承メダルを授与した。武漢市文化局コミュニティー文化処の楊小慧氏によると、このようなサービス拠点は、ネットワーク化されており、「街」文化ステーション（「街」はコミュニティーの基礎最小区域）とコミュニティー内のサービスセンターにより構成されている。市民は証明書を提示すれば無料で利用することができるとのことである。（9月2日）